



## ご協力、ありがとうございました。

毎日寒気が加わる季節となりました。保護者の皆様や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。

さて、今年度も夏季休業前に学校評価アンケートを実施し、保護者の皆様にもご回答をいただきました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。今回の結果をしっかりと受け止め、今後に活かしていきたいと考えています。今後とも保護者の皆様や地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。

各項目で「よく出来ている+大体できている」と評価いただいた割合は、以下の通りです。

No	質問内容	児童	保護者	教職員
1	学校に行くのが楽しい。	88.1	95.3	100
2	学校で習ったことは、よくわかる。	88.1	86.2	62.5
3	先生や友だちの話を、最後までしっかり聞いている。	90.9	72.1	25.0
4	授業中、よく発表している。	64.8	58.9	87.5
5	元気のよいあいさつをしている。	73.4	67.7	54.2
6	学校のきまりや約束を、きちんと守っている。	90.7	90.7	70.8
7	当番や係の仕事を、最後までやり切っている。	95.9	96.9	91.7
8	人が嫌がるようなことはせず、友だちと仲よくしている。	93.3	91.9	79.2
9	家庭で読書をしている。	57.6	39.4	16.7
10	宿題や家庭学習を、きちんとしている。	89.4	88.4	87.5
11	寝る時刻や起きる時刻を決めて、守っている。	67.2	67.2	37.5
12	朝ごはんを毎日食べている。	91.6	95.0	95.8
13	ゲームや携帯（スマホ）をする時間を決めて、守っている。	70.9	59.2	54.2
14	家で学校のことを話している。	65.4	77.3	87.5
15	進んでお手伝いをしている。	76.8	54.2	75.0
16	学校・学年・学級だよりやHPを見て学校の様子を知っている。	73.1	91.6	
17	全教職員が「学校いじめ防止等基本方針」の内容を理解し、組織的対応に努めている。			95.8
18	児童・保護者の訴え（含アンケート結果）や相談内容を共有している。			95.8

## アンケートの結果から

### ◎結果が良かった項目

「10. 宿題や家庭学習を、きちんとしている。」

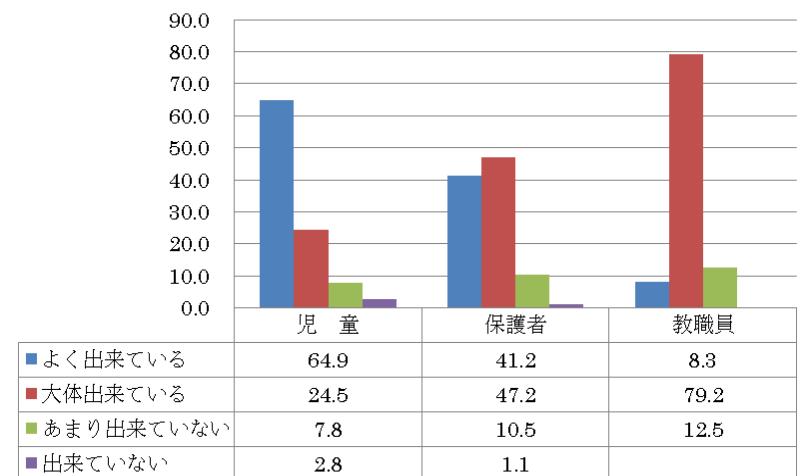
児童 89.4% 保護者 88.4% 教職員 87.5%

児童、保護者、教職員ともに評価が高く、昨年度に比べても「できている」の割合が上がった項目です。

勧修中学校ブロック（勧修中学校、勧修小学校、小野小学校）では、家庭学習の習慣を定着させるために、「家庭学習計画」の取組を行っています。毎週金曜日に配布する学習予定表に、低学年は1週間の生活の振り返りに色を塗り、中学年は宿題や自主学習の時間を、5年生は放課後の時間の使い方

を、6年生は自主学習の時間と内容を書き込んでいます。また、土日の計画も記入します。このため、家庭学習を意識する習慣がついてきていると考えられます。学習予定表にはおうちの方にサインをしていただく欄を設けていますので、お子さんの1週間の頑張りの足跡を見ていただき、サインをお願いします。

### 10. 宿題や家庭学習を、きちんとしている。



## ◎児童と教職員で受け止め方に大きな違いが出た項目

「3. 先生や友だちの話を、最後までしっかり聞いている。」

**児童 90.9%，保護者 72.1%，教職員 25.0%**

この項目については、特に児童と教職員の間で認識に大きな差があることがわかりました。児童の90%が人の話を最後までしっかり聞いていると回答しているのに対し、教職員では25%にとどまっています。

学校では、話し手の方に体（おへそ）を向け、相手の目を見て、「目と耳と心」で話を聞くように指導しています。けれどもよそ見をしたり、何かを触ったりしながらでも、耳では声を聞いているから、話が聞けていると思っている児童が多いのではないかと思います。「聞いているつもり」ではなく、

「しっかり聞いている」姿を目指して指導をしていきたいと思います。また、私たち大人も、子どもの目を見てじっくりと話を聞くことを心がけ、子どもが相手意識をもって話を聞くことのよさを感じられるようにしていきたいと思います。

## ◎今後、取組が必要と思われる項目①

「9. 家庭で読書をしている。」

**児童 57.6% 保護者 39.4% 教職員 16.7%**

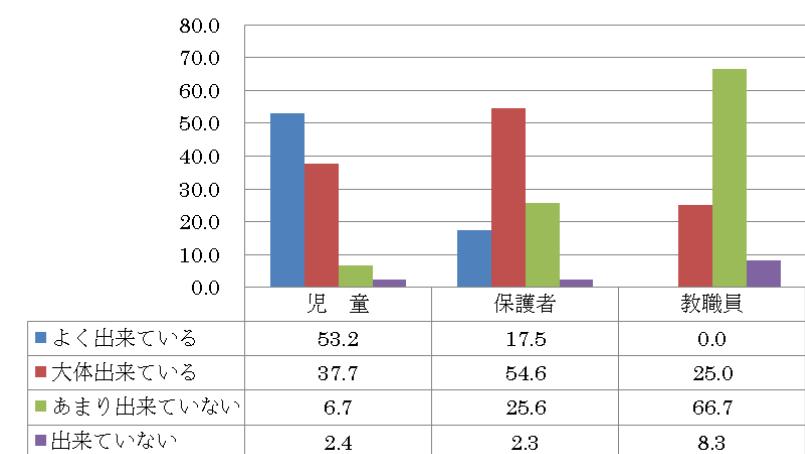
過去2年間の学校評価アンケートでも評価が低く、さらに下がっている項目です。勧修中学校ブロックでも共通の課題となっており、今年度は3校とも、10~15分間の「朝読書」の時間を設けています。しかし、いくら読書の時間を設定しても、子どもが本を好きになり、興味をもって読書をしようとする意欲がもてなければ、自発的な読書にはつながりません。

学校では、国語科で学習する物語に関連する本を学校司書が紹介する「ブックトーク」や、学年を超えてお互いにおすすめの本を紹介する「読書ゆうびん」など、子どもたちが本に興味をもてる取組を行っています。また、教室や廊下に本を置いたり、週一回学校図書館で本を借りたりしています。

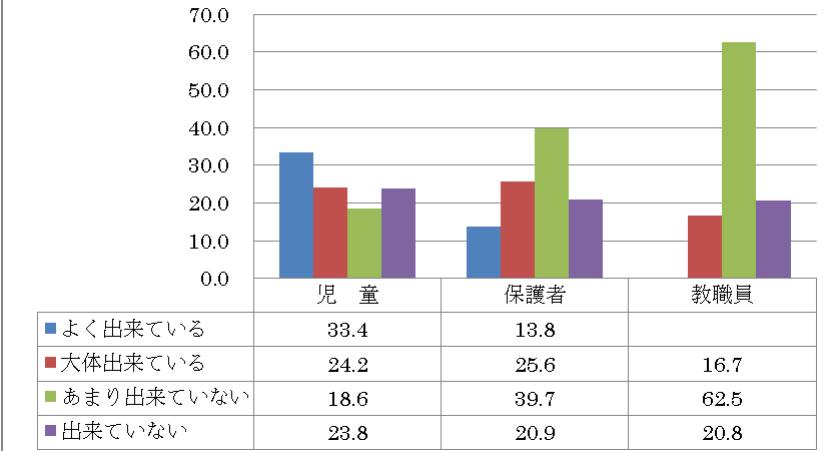
本は、吟味され選ばれた言葉で書かれているので、子どもは本を読むことで、豊かな言葉を学びます。また、読解力や論理的思考力、言葉の使い方や文脈の中で適切に言葉を使いこなせる語彙力も育ちます。

子どもの頃の「本って楽しい」という実感や思い出が大人になってからの読書につながっていきます。ぜひご家庭でも時間を見つけて読み聞かせをしたり、地域の図書館に本を借りに行ったり、大人が本を読む姿を見せたりして、子どもに本の楽しさを感じられる機会を作ってください。

3. 先生や友だちの話を、最後までしっかり聞いている。



9. 家で、読書をしている。



## ◎今後、取組が必要と思われる項目②

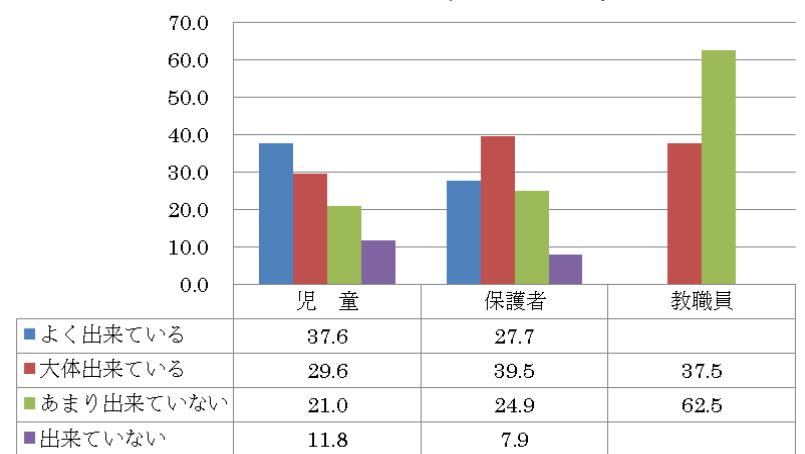
「11. 寝る時刻や起きる時刻を決めて、守っている。」

**児童 67.2% 保護者 67.2% 教職員 37.5%**

この項目も、過去2年間評価が下がり続けている項目です。

小野小学校では、ゴールデンウィーク、夏休み、冬休みなどの長期休業明けの生活リズムを整えるために、「生活見直し週間」に取り組んでいます。昨年度と今年度は、特に目標達成率が低い睡眠に重点を置いて取り組みましたが改善が見られず、今年の夏休み明けに「早寝ができた」割合は、学校全体で54.6%（低学年52.2%，中学年54.5%，高学年57.1%）でした。

11. 寝る時刻や起きる時刻を決めて、守っている。



ほけんだよりでもお知らせしていますが、睡眠をとると「セロトニン」がたくさん作られます。セロトニンには「しっかりと記憶ができる」「不安やイライラを抑える」「運動能力が向上する」などの効果があります。将来に向けて、「計画を立て、見通しを持って行動する」力をつけるためにも、心身ともに健康な生活を送るためにも、低学年9時、中学年9時30分、高学年10時の目標就寝時刻を守れるよう、ご家庭のご協力をお願いいたします。